

創刊にあたって

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2016-12-22 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: TOKUNAGA, Masanao メールアドレス: 所属:
URL	https://osaka-shoin.repo.nii.ac.jp/records/4055

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



樟蔭教職研究

創刊にあたって

教職は「専門職として確定することが不可能な専門職」(impossible profession)といわれるが、教員養成に携わるわれわれが、「教師に求められる専門的な能力とは何か」という問いに何らかの明確な回答を与えられないとすれば、そもそもわれわれの仕事の意義が曖昧になってしまうであろう。近年、教師の実践的指導力が求められるといわれるが、それが何かは不明確であり、およそあらゆる意味での能力を獲得するためには、相当の長期にわたる苦しい練習や修練が必要となるはずである。

一般的に言えば、教師には三つの要素が必要だとされる。第一に、子どもの人間的な成長に寄与できることを純粹の喜びとすることができること(教育者性)、第二に、教育内容と教育方法に関する専門的な知識と能力を身につけていること(教師性)、そして第三に、とりわけ子どもたちから愛される人間的魅力(指導者性)である。これらの中で、教育者性と指導者性は、一定の学習プロセスを踏まれば、誰でも身につけることができるとは断言しがたい要素であろう。とすれば、教師性の内実を十分豊かに充たすための取り組みを、教員養成の中心に位置づけるしかないのではなかろうか。

その意味でも、「樟蔭」の「教職課程」で教員養成の仕事に携わるわれわれは、学生に対する教育責任を果たすためにも、それぞれの専門性を活かした研究面での交流を促進し、同時に研究面のみならず、日常的な教育上の問題や成果に関する交わりを広め深めていくことを通じて、「樟蔭」ならではの特色ある教員養成の営みを創造することができるのではなかろうか。

このたび刊行される『樟蔭教職研究』が、教職課程を担うわれわれの教育研究面での新たな刺激になり、互いに実り豊かな交流が生まれる機会になることを祈念いたします。

樟蔭教職研究編集委員長

徳永正直